

山形県広報誌県民のあゆみ令和5年5月号テキスト  
データ読み上げ用として加工しています。

## <表紙>

山形県広報誌／県民のあゆみ 令和5年5月号 第633号

## 県民のあゆみ5月号

県民の皆さまへ 知事メッセージ (2ページ)

特集 令和5年度当初予算について (4ページ)

奏であう人 身近でできる運動で体も心も元気に (8ページ)

潜入レポート！ 山形県環境科学研究センター (16ページ)

### 今月の表紙

やまがたカーボンニュートラル大使の酒田光陵高校「光陵省エネ電工チーム」の皆さん。令和4年度は校舎駐輪場の屋根に太陽光パネルを設置し、発電した電気を夜間照明に利用する活動などに取り組みました。今年度も生徒たちが活動を展開する予定です。(撮影協力：酒田光陵高等学校(3月撮影))

## <2から3ページ>

タイトル

## 県民の皆さまとともにポストコロナの県づくり！

新緑の美しい景色が広がる爽やかな季節となりました。

新型コロナの感染法上の位置づけが、5月8日に2類相当から5類へ移行し、新型コロナを取り巻く状況が大きな転換を迎えます。新型コロナの1日も早い収束に向けて、感染防止対策を行いながら、日常を取り戻し、本県経済の回復を図る取組みをしっかりと進めてまいります。

原油価格・物価高騰や多発する自然災害など、本県を取り巻く社会経済環境が大きく変化している中、DX(デジタルトランスフォーメーション)やGX(グリーントランスフォーメーション)などの新たな変化を本県の持続的な発展につなげていけるよう、積極果敢にチャレンジしてまいります。

そして、今年度は、さくらんぼの期待の大玉新品種「やまがた紅王」の本格デビューや新しい県立新庄病院の開院、「米沢トンネル(仮称)」の整備推進に向けた取組みなど、大きな動きもあります。

これら取組みを通して、本県の未来を拓く県づくりを県民の皆さまとともに力強く進めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

山形県知事 吉村美栄子

台風や大雨などによる水害に備えよう！

5月は水防月間です。梅雨や台風の時期を迎えるにあたり、万が一の浸水などに備え、各家庭で避難行動や避難場所などを確認しておきましょう。

## 1 水害のリスクや避難場所を確認

市町村の洪水ハザードマップで、お住まいの場所の想定される浸水の有無・浸水の深さ、避難場所、安全な避難経路などを確認しましょう。洪水ハザードマップは、市町村のホームページなどで確認できます。

## 2 警戒レベルと避難行動

警戒レベルや気象警報、市町村から出される避難情報などを確認し、いつ避難すればよいか考えておきましょう。

### <警戒レベル 1>

取るべき行動 災害への心構えを高める  
気象警報・注意報 早期注意情報

### <警戒レベル 2>

取るべき行動 自らの避難行動を確認  
気象警報・注意報 大雨注意報洪水注意報

### <警戒レベル 3>

取るべき行動 危険な場所から高齢者等は避難  
市町村から出される避難情報 高齢者等避難  
気象警報・注意報 大雨警報洪水警報

### <警戒レベル 4>

取るべき行動 危険な場所から全員避難  
市町村から出される避難情報 避難指示  
気象警報・注意報 土砂災害警戒情報

### <警戒レベル 5>

取るべき行動 命の危険直ちに安全確保！  
市町村から出される避難情報 緊急安全確保  
気象警報・注意報 大雨特別警報  
<警戒レベル4までに必ず避難!>

## 3 台風や大雨が近づいたら

気象警報や市町村から出される避難情報などに注意し、避難が必要と判断した場合は早め早めに避難行動をとりましょう。

気象警報や市町村から出される避難情報などを確認

こちら防災やまがた！はこちら

<https://www.pref.yamagata.jp/020072/bosai/kochibou/index.html>

雨量・河川水位情報や土砂災害警戒情報などを確認

河川・砂防情報はこちら

<http://www.kasen.pref.yamagata.jp/>

お住まいの場所の浸水害、洪水災害などの危険度を確認

キキクル（気象庁）はこちら

[https://www.jma.go.jp/bosai/#pattern=rain\\_level&area\\_type=offices&area\\_code=060000](https://www.jma.go.jp/bosai/#pattern=rain_level&area_type=offices&area_code=060000)

問い合わせ

防災危機管理課 電話番号 023-630-2230

河川課 電話番号 023-630-2615

新型コロナ関連情報は 14 ページに掲載

## タイトル **県政できごとアラカルト** こんなことがありました

### 1) 県スポーツ賞受賞おめでとうございます！

令和4年度山形県スポーツ賞授賞式（令和5年2月21日 山形市）

競技スポーツで優秀な成績を収めた方や本県の生涯スポーツの振興に寄与した方に贈られる「山形県スポーツ賞」の授賞式を行いました。第24回夏季デフリンピック競技大会女子100メートルバタフライで第1位の成績を収め、スポーツ大賞に輝いた齋藤京香さんをはじめ、82名・4団体が受賞されました。スポーツを通じて、たくさんの元気と感動をいただき、ありがとうございました。受賞者の皆さんのさらなるご活躍を期待しています！

### 2) 県民の宝である「樹氷」の復活に向けて

「樹氷復活県民会議」設立（令和5年3月13日 山形市）

本県の冬のシンボルである「樹氷」の復活に向けて、県、山形市、上山市、市長会、町村会、森林保全・観光・経済・福祉等各分野の団体などで構成する「樹氷復活県民会議」を設立しました。蔵王の樹氷の風景は、樹氷を形成するオオシラビソ（別名：アオモリトドマツ）の虫害や気候の温暖化の影響により、将来の存続が危ぶまれています。今後、県民会議では、オオシラビソ林の再生や気候の温暖化対策などに官民一体となって取り組んでいきます。

### 3) 本県の特産品をオンラインでも販売

おいしい山形プラザ オンラインストア開設（令和5年3月1日）

県産品のさらなる販路拡大に向けて、本県アンテナショップのオンラインストア「おいしい山形プラザウェブ」を開設しました。このことにより、東京・銀座のアンテナショップへの来店が難しい方でも、いつでも本県の特産品を購入できます。オンラインストアでは、本県のブランド米「つや姫」や「雪若丸」をはじめ、玉こんにゃくや芋煮などの加工品、菓子、漬物など約100品

を販売しており、今後も商品を充実させていく予定です。

おいしい山形プラザオンラインストアはこちら

<https://www.yamagatabussan.com/oishii-yamagata/>

## <4 から 7 ページ>

タイトル

### ポストコロナ・やまがた創造予算

令和5年度は、「第4次山形県総合発展計画」の基本目標である「人と自然がいきいきと調和し、真の豊かさと幸せを実感できる山形」の実現に向け、さまざまな分野でのリスクリング（学び直し）をはじめ、本県の未来をつくる「人」への投資を積極的に盛り込むなど、ポストコロナの県づくりを推進するための予算を編成しました。

（★：リスクリングを含む事業）

#### 【予算規模】

令和5年度一般会計当初予算は、総額 6816 億円となり、前年度比で 32 億円の減少となります。

#### 【歳入予算】

自主財源のうち県税は、コロナ禍からの社会経済活動の正常化を背景に、法人事業税や地方消費税が堅調に推移する見込みなどを踏まえ、全体で 1120 億円（前年度比 0.2 パーセント増加）を見込んでいます。

依存財源のうち地方交付税は、政府の地方財政計画を踏まえ、1804 億円（前年度比 1.4 パーセント増加）、県債は、同計画に基づき臨時財政対策債が減少する見込みなどを踏まえ、507 億円（前年度比 4.8 パーセント減少）を見込んでいます。

#### 【県債残高の見込み】

今年度末の県債残高の見込みは、1兆 1646 億円となり、前年度当初予算と比べて、164 億円の減少を見込んでいます。

また、財政健全化の目標として掲げている臨時財政対策債及び補正予算債等並びに災害復旧事業債を除いた実質的な県債残高は今年度末見込みで 6511 億円となり、前年度の同時期と比べて9億円の増加を見込んでいます。

#### 【調整基金の残高】

調整基金については、今回の予算編成において、約 157 億円を取り崩し、今年度末における残高は約 231 億円と見込んでいます。

### 令和5年度当初予算（一般会計）の概要

#### 歳入 6816 億円

自主財源 3364 億円（49.4 パーセント）／依存財源 3452 億円（50.6 パーセント）／県税 1120 億円（16.4 パーセント）／諸収入 1296 億円（19.0 パーセント）／繰入金 252 億円（3.7 パーセント）／その他・自主財源 696 億円（10.2 パーセント）／地方交付税 1804 億円（26.5 パーセント）／県債 507 億円（7.4 パーセント）／国庫支出金 921 億円（13.5 パーセント）／その

他・依存財源 220 億円（3.2 パーセント）

## 歳出 6816 億円

商工費 1159 億円（17.0 パーセント）／教育費 1104 億円（16.2 パーセント）／公債費 880 億円（12.9 パーセント）／民生費 808 億円（11.9 パーセント）／土木費 578 億円（8.5 パーセント）／衛生費 491 億円（7.2 パーセント）／農林水産業費 414 億円（6.1 パーセント）／総務費 306 億円（4.5 パーセント）／警察費 259 億円（3.8 パーセント）／その他 816 億円（12.0 パーセント）

注：表示単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

## 用語解説

### 【歳入】

**地方交付税** 自治体間の財源の不均衡を調整するために、一定のルールで国から交付されるお金

**県債** 災害対応や道路整備・学校を建てるなどの目的で県が借りるお金

**国庫支出金** 農地の整備など、特定の事業に対して国から交付されるお金

**自主財源** 県税など、県が自ら収入する財源

**依存財源** 国から交付されたり、割り当てられたりする財源

### 【歳出】

**公債費** 県債返済などに使うお金

**民生費** 生活保護などの社会保障のためのお金

**衛生費** 医療や健康増進、環境保全などのためのお金

## 1 未来の「やまがた」をつくる人材育成・確保を推進！

### 移住支援、副業・兼業人材の活用による関係人口の創出 4700 万円

やまがた暮らしの体験機会の提供やテレワークによる移住への支援を行うとともに、副業や兼業に関心を持つ首都圏等の人材を本県に呼び込むことにより、関係人口の拡大と、地域活力の維持・向上を図ります。

### <全国初>

### 再就職を希望する女性向けのインターンシップ等の実施★ 3200 万円

産学官連携による女性の再就職のためのインターンシップ等を実施し、女性の再就職・キャリア形成を支援するとともに、経営者と県内外の若手社会人や学生との座談会を開催し、若者にとって魅力ある職場環境づくりを促進します。

### 次の時代の本県産業をけん引するリーダーの育成★ 1300 万円

県及び民間企業の若手人材を対象に、世界最先端の事業化の取組みを学ぶ海外研修を実施し、次の時代をけん引するリーダーを育成します。

### 「東北農林専門職大学（仮称）」の開学準備 34 億円

令和6年4月開学に向けて、国の認可審査の対応や入学試験の実施、キャンパス整備など、ソフ

ト・ハード両面から準備を進めます。

### 「農作業受委託モデル」構築や経営継承の促進等 7000万円

農繁期の労働力不足への対策として、農業団体、観光業界と連携して県外の企業、学生、観光客などから働き手を募る仕組みを構築するとともに、農業の後継者不足への対策として、新規参入者やユー、アイターン者を対象とした経営継承に向けた支援を行います。

写真キャプション 首都圏からのUターンによる新規就農

### <東北初>

#### 「外国人介護人材支援センター」の設置 600万円

外国人介護人材に対するニーズが全国的に高まっている状況を踏まえ、県内で働く外国人介護職員及び介護事業所をサポートし、外国人介護人材の確保及び県内定着を推進します。

#### 私立学校の授業料軽減等支援、東北公益文科大学の公立化等の検討 68億7400万円

私立学校の運営費や授業料の負担軽減等への支援を行い、教育の機会均等の確保、教育環境の充実に努めるほか、東北公益文科大学の公立化と機能強化に関する検討を進めます。

#### 魅力ある県立高校づくりの推進 3400万円

市町村・産業界との連携やICTを活用した授業内容の充実などにより、魅力ある県立高校づくりを推進し、次代の「やまがた」をつくる人材の育成・確保を図ります。

## 2 持続可能な成長に向けた産業の生産性向上・高付加価値化！

#### 水素社会の実現に向けた戦略の策定及び水素エネルギーの導入促進★ 7400万円

本県における水素社会実現に向けた戦略を策定し、外部有識者を交えたプロジェクトチームにおいて、水素の製造・利活用について勉強を進めるとともに、FCV（燃料電池自動車）用水素ステーションの整備に対する支援制度の創設や、県内企業の水素利活用関連産業への参入支援を進めます。

#### 産業の高付加価値化や新たなサービスの創出に向けたDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進 2100万円

IoT、AI、ロボットなどのデジタル技術の活用による県内企業の生産性向上や、デジタル技術を活用した革新的なビジネスモデルやサービスを生み出すDX（デジタルトランスフォーメーション）実現に向けて、コーディネータを中心に企業への伴走支援を行い、産業の高付加価値化や新ビジネスの創出を図ります。

#### 「やまがた観光情報センター」のリニューアル整備 2500万円

霞城セントラル1階にある「やまがた観光情報センター」のリニューアル整備を行い、本県の魅力発信の強化と山形駅周辺の賑わいの創出を図ります。

#### フルーツ・ツーリズムによる観光誘客の促進 1600万円

JRの全国主要駅での観光PRポスター掲出により、「さくらんぼ県やまがた」の認知度向上を図るとともに、さくらんぼ狩りツアーへの助成などにより、県内観光地への誘客を促進します。

写真キャプション 初夏の観光で人気の「さくらんぼ狩り」

#### **東京都との連携による観光振興の推進 1100万円**

女性活躍の推進などで本県が連携してきた東京都とともに、女性の視点を取り入れた観光誘客に取り組めます。

#### **「やまがた紅王」のプロモーション及びフルーツ・ステーションネットワークの構築検討 8300万円**

さくらんぼの新品種「やまがた紅王」のデビューイベントや各種メディアなどを活用したプロモーションを展開し、「やまがた紅王」の認知度向上やブランド化を図るとともに、本県自慢のフルーツの魅力を通年で発信する「フルーツ・ステーション」の整備と各産地とのネットワーク化に向けた調査検討を進めます。

#### **県産飼料の生産・利用体制の構築支援 1700万円**

配合飼料価格が高止まりしている状況を踏まえ、飼料となる子実用とうもろこしの作付けなどへの支援により、県産飼料の生産・利用拡大に取り組めます。

#### **森林研究研修センターの機能強化等によるスマート林業の推進★ 1400万円**

ICTなどを活用したスマート林業を推進し、林業生産の効率化や作業負担の軽減を図るため、林業の労働環境改善の取組みへの支援や森林研究研修センターの機能強化等を図ります。

写真キャプション ドローンを活用した効率的な森林調査

### **3 県民が幸せを実感できる暮らしやすい「やまがた」へ！**

#### **山形の未来をテーマにした高校生アイデアコンテストの開催等 800万円**

県民が幸せを実感できる山形を目指し、山形の未来をテーマとした高校生アイデアコンテストの開催などを通して、本県ならではの地域資源や暮らし方などの価値を見つめ直すきっかけづくりに取り組めます。

#### **医師確保のための修学資金の貸与や海外研修等支援制度の創設等★ 4億9200万円**

医師修学資金の貸付けや、県内の若手医師が最先端の医学知識や医療技術を学ぶことを目的に海外研修等に参加する場合の支援を行うなど、医師の確保・定着を図ります。

#### **<東北初>**

#### **病院薬剤師確保のための奨学金返還支援制度の創設 1900万円**

薬剤師の県内病院への就業・定着を促進する奨学金返還支援制度の令和6年度開始に向け、基金の積立や事業周知などを行います。

#### 庄内地区動物愛護センターの整備 800 万円

老朽化が著しい庄内地区動物管理センターの移転整備に向けた設計などを行います。

#### ワーク・ライフ・バランスや女性活躍に関する認定制度の創設 800 万円

ワーク・ライフ・バランスや女性活躍、男性の家事・育児参画などに取り組む企業などを対象に、本県独自の認定制度として、「やまがたスマイル企業認定制度」を創設し、企業の取組みを促進します。

写真キャプション 男性の育児参加

## 4 安全・安心な暮らしや交流を支える「やまがた強靱化」！

#### 近年の激甚化・頻発化する豪雨災害への対応 224 億 4200 万円（注釈）

（注釈）令和 4 年度 12 月補正予算額及び 2 月補正予算額を含めた額

近年の豪雨災害により、最上川やその支川などで多くの浸水被害が発生していることを踏まえ、被災した河川の改良復旧や、計画的な河川の整備などの治水対策を推進します。併せて、土砂災害を防止する施設の整備や住民自らの避難判断を促す取組みなど、ハード・ソフト両面での土砂災害対策を推進します。

写真キャプション 土砂災害を防止する施設の整備例

#### 危険な盛土等を規制する「規制区域」の指定のための調査 4400 万円

「宅地造成及び特定盛土等規制法」が今年 5 月に施行されることを受け、盛土の崩壊などによって災害が発生するおそれがあるエリアを「規制区域」として、新たに指定するための調査を行います。

#### 「米沢トンネル（仮称）」の早期実現等に向けた沿線の活性化や利用拡大の取組みの推進 2700 万円

「米沢トンネル（仮称）」の早期実現に向けて、市町村等と連携しながら、駅周辺のにぎわい創出や観光等による交流人口の拡大など、鉄道沿線の活性化や利用拡大に取り組めます。

#### 庄内圏域水道基盤強化計画の策定 2300 万円

人口減少や水道設備の老朽化などにより、将来的に厳しい水道事業運営が見込まれるなか、水道法に基づく庄内圏域水道基盤強化計画を策定し、庄内圏域の水道事業の広域化を進め、経営基盤強化を推進します。

<8 から 9 ページ>



撮影場所 金山町体育センター（金山町）

## キーワード 身近でできる運動で体も心も元気に

「ノルディックウォーキング」をはじめ、さまざまなスポーツの普及に取り組む栗田伸一さんと、NPO法人を立ち上げ、地域の方の健康づくりに取り組む佐藤香奈子さんに、運動を取り入れた健康づくりについてお聞きしました。

## 栗田 伸一（くりた しんいち）さん（金山町）

1976年生まれ、金山町出身。高校時代から陸上競技に取り組んでいる経験から、2012年4月に新庄最上アスリートクラブを立ち上げ、陸上競技の普及活動を行うとともに、金山健康ふれあいスポーツクラブの指導員として、ノルディックウォーキング教室などを開催している。NPO法人日本ノルディックフィットネス協会公認ベーシックインストラクター。

写真キャプション ノルディックウォーキングは、ポール2本さえあれば誰でも簡単に始められ、腕の筋肉も使って歩くため、見た目よりも運動強度が高いスポーツとして知られる。金山健康ふれあいスポーツクラブでは、街なかなどでノルディックウォーキング教室を定期的に開催している。

## 佐藤 香奈子さん（酒田市）

1972年生まれ、酒田市出身。東京都内のスポーツジムでの勤務を経て、酒田市へリターンし、家業である「とがしスポーツ」に入社。現在、同社代表取締役社長。2006年にNPO法人「元気王国」を立ち上げ、高齢者向けの運動教室や子ども向けの自然体験事業などに取り組んでいる。公益財団法人健康・体力づくり事業財団認定の健康運動指導士。

写真キャプション みんなでリズムにあわせて下肢の筋トレ中。NPO法人「元気王国」は、「酒田市中町にぎわい健康プラザ」を拠点に主に中高年を対象にさまざまな運動教室を開催するとともに、地域の公民館に講師を派遣し、高齢者の筋力維持、介護予防に向けた運動指導を行っている。

## 地域に根ざす健康づくりの拠点をつくりたい

NPO法人「元気王国」の代表として、高齢者向けの運動教室や健康づくり指導などに取り組んでいる佐藤さん。きっかけは、酒田市民を対象とした運動教室の講師を引き受けたことだと言います。

「当時開催した運動教室は好評だったのですが、3か月限定でした。健康づくりや介護予防の観点では、継続した取り組みがとても大切。そのための地域で運動できる拠点をつくりたいと思うようになりました」。

そこで佐藤さんは、運動教室の講師仲間とともにNPO法人「元気王国」を設立しました。

「健康づくりの場として、多数の方に利用していただいております。地域の高齢化が進むなかで、地域に根ざし、健康寿命を延ばすことに貢献できればと思っています」。

一方、総合型地域スポーツクラブ「金山健康ふれあいスポーツクラブ」の指導者として、ノルディックウォーキングの普及などに取り組んでいる栗田さん。ノルディックウォーキングとは、ポ

ールを使い歩く歩行法で、高齢者や足腰に持病がある方でも取り組みやすい運動方法なのだそうです。

「発祥の地フィンランドでは、クロスカントリースキーの夏場のトレーニングとして始まり、一般の方の健康づくりとしても定着しています。フィンランドでは、運動をして自分の健康は自分で守るという文化が根付いています」。

金山町はクロスカントリースキーが盛んで、ノルディックウォーキングにぴったりだと栗田さんは言います。街なかを散策したり、蛍を見に行ったりと、歩きながら金山町の豊かな自然や景観を楽しめることも魅力の一つだそうです。

## 一歩踏み出す機会をつくりたい

「年齢を重ね健康に不安を持つ方もいますが、一緒に運動をしようと友人に誘われたり、お医者さんから運動をした方がいいと言われないと一歩を踏み出せない方も多いようです。」と佐藤さんは言います。

栗田さんがうなずき、応えます。

「運動を始める際、大抵の人は気持ちのハードルがありますよね。それを乗り越える動機は、例えば、スポーツクラブのさわやかな指導員に会いたいから、でもいいと思うんです。私のことじゃないですよ（笑）」。

栗田さんの言葉に、思わず笑みがこぼれた佐藤さんが応えます。

「あるいは、着たい服があるからとか、これからも遠方の孫に会いに行きたいからといった動機でもいいですね。一歩を踏み出し、体験すれば、運動の楽しさや達成感などがわかると思います」。栗田さんが応えます。

「私たちは、各地区の公民館に出向いて、体験教室も開催しています。参加した方がクラブに入ってくれることもあり、地道な努力を重ねることが大事だと思っています」。

## 体を動かすことで元気を実感できる

佐藤さんは、長年通っている利用者さんとの会話が印象的だったと話します。

「その方は、脳梗塞の後遺症があっても楽しそうに運動しています。私が体調はいかがですかと伺うと、元気だよ、ここに来てうれしいよと話してくれました。病気を患ったとしても、体を動かすことで、元気や幸せを感じることもできる。運動は生活の質を向上するうえでとても大事なことだと思います」。

佐藤さんの言葉に栗田さんが応えます。

「その意味でも、多くの方に自分にあった運動を見つけてもらえるといいですね」。

「例えば、鳥海山の景色を眺める目的で歩くだけでもいいと思います。」と佐藤さん。

栗田さんが言葉を続けます。

「運動をしよう！と身構えると息切れするので、まずはどんなものでも運動になると思って始めてほしいですね。これから運動を始めようかなという方は、山形の豊かな自然の中で歩くことから、はじめてみてはいかがでしょうか」。

## <10 から 11 ページ>

県会議の最新情報コチラから今すぐアクセス！

<https://www.pref.yamagata.jp/kensei/assembly/index.html>

## 2月定例会の概要

令和5年2月定例会は、2月20日から3月16日までの25日間の会期で開催され、令和5年度一般会計予算案や令和4年度一般会計補正予算案など知事提出の64議案、委員会提出の6議案（決議1件、意見書5件）を可決しました。

今定例会では、ポストコロナにおける本県のさらなる発展に向けて、本県オリジナルブドウ品種の開発に関する質問や、精神文化に着目した観光誘客に関する質問をはじめ、活発な質疑質問が行われました。

特に農林水産常任委員会においては、「フルーツ・ステーション」の創出とそのネットワーク化に向けた調査・検討に係る予算案について質疑が行われ、既存施設との差別化を明確にした上で、各施設に対して相乗効果が発揮されるものとする事や市町村や生産者等と意見交換する場を設け、調査・検討を進めることなどを求める意見が議案の採決前に行われた常任委員長報告に付されました。

キャプション 着物姿で本県の伝統産業をPR

## 2月定例会で質疑質問を行った議員

質疑質問の様子（動画）や会議録はこちらからご覧いただけます！

録画中継

<http://gikai.pref.yamagata.jp/YamagataPref/>

会議録検索システム（注釈 2月定例会分は6月以降に掲載予定）

<https://ssp.kaigiroku.net/tenant/prefyamagata/SpTop.html>

## 代表質問（2月27日）

自由民主党 島津良平 議員 東置賜郡選挙区

◆山形県オリジナルブドウ品種の開発 など

県政クラブ 青木彰榮 議員 長井市・西置賜郡選挙区

◆精神文化に着目した観光誘客 など

## 一般質問（2月28日・3月1日）

自由民主党 相田光照 議員 米沢市選挙区

◆県工業技術センター置賜試験場の今後のあり方 など

県政クラブ 高橋 淳 議員 鶴岡市選挙区

◆鶴岡市西目地内で発生した土砂災害への取組み など

自由民主党 柴田正人 議員 南陽市選挙区

◆実感する「子育てするなら山形県」の実現に向けた取組み など

自由民主党 矢吹栄修 議員 天童市選挙区

◆マスクの無い日常への回帰 など

県政クラブ 松田敏男 議員 寒河江市・西村山郡選挙区

◆西村山地域の医療提供体制 など

自由民主党 鈴木 孝 議員 東村山郡選挙区

◆果樹の担い手確保 など

### 予算特別委員会（3月3・6・7日）

自由民主党 遠藤寛明 議員 上山市選挙区

◆モデル校設置による高校生の自転車ヘルメット着用促進 など

県政クラブ 菊池大二郎 議員 村山市選挙区

◆カワウ管理計画の策定に向けた考え方 など

自由民主党 森谷仙一郎 議員 天童市選挙区

◆国道48号の整備 など

自由民主党 小野幸作 議員 寒河江市・西村山郡選挙区

◆県民歌・スポーツ県民歌の普及 など

無所属 山科朝則 議員 新庄市選挙区

◆専門職大学と学校・地域との連携 など

自由民主党 金澤忠一 議員 山形市選挙区

◆人口減少と今後の県政運営 など

県政クラブ 吉村和武 議員 山形市選挙区

◆樹氷再生に向けた取組み など

自由民主党 船山現人 議員 東置賜郡選挙区

◆県立産業系高校の魅力化と地域産業に必要な人材の育成 など

### 2月定例会で可決した決議

除排雪に携わる方々に感謝する決議

### 2月定例会で可決した意見書

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けの変更に伴う影響に対する万全な対応等を求める意見書

空き家の発生抑制と利活用の促進を求める意見書

不登校児童生徒等の支援体制の拡充と学習機会の確保に必要な財政支援を求める意見書

森林環境譲与税の譲与基準の見直し及び林業・木材産業の活性化対策の推進を求める意見書  
医療・介護・保育・福祉などの現場で働く全ての労働者の賃金の更なる引上げを求める意見書

詳しくはこちらから

<https://www.pref.yamagata.jp/600006/kensei/assembly/gikaikatsudou/ikensyo-ketugi/ikensyo-ketugi.html>

## 令和4年度 議会政策提言

3つの特別委員会における一年間の調査・審査結果を踏まえ、県政発展に向けた政策提言を県議会の総意として取りまとめ、3月15日、坂本議長から知事に手渡しました。

調査・審議したテーマ

提言1 地域交通インフラ・ネットワークの充実

提言2 地域運営を維持するための環境整備

提言3 子どもの貧困に対する支援の充実・強化

提言4 医療に頼らない健康維持の取組みの推進

提言5 生産性向上に向けた農業と建設業のデジタル化の促進

提言6 「ゼロカーボンやまがた2050」の実現に向けた農林業の活性化と新産業の創出

詳しくはこちらから

<https://www.pref.yamagata.jp/600006/kensei/assembly/gikaikatsudou/assemblypolicy/660000606-teigen-1.html>

## 県議会のデジタル化に向けた取組などの検討結果を議長に報告しました

県議会デジタル化推進会議では、議会活動におけるデジタル化に向けた検討を行ってきました。2月定例会において、ペーパーレス会議システムを本格導入すべきであるなどとした検討結果を議長に報告しました。今後もさらなるデジタル化に向けて取り組んでまいります。

## 県議会棟のバリアフリー化などの検討結果を議長に報告しました

県議会議会機能強化検討会議では、議会棟のバリアフリー化などの検討を行ってきました。2月定例会において、議場の身体障がい者専用傍聴席を早急に確保すべきであるなどとした検討結果を議長に報告しました。今後は報告内容を踏まえ着実に前に進めてまいります。

## 2月定例会における県議会ギャラリーの展示

2月定例会の期間中、県議会ギャラリーでは県内各地の小中学生を対象に開催された県児童生徒版画作品展の入賞作品10点を展示しました。

また、県内の高校生による建築設計デザインコンクールの入賞作品をまとめたパネル展示も併せて行いました。

県議会では、県内の児童、生徒、学生の皆さんが学校の授業や部活動などで制作した作品を展示するスペース「県議会ギャラリー」を提供しています。県議会に作品を展示してみませんか。

県議会の情報は、山形県議会ホームページに満載です。ぜひご覧ください!!

- 1 定例会の概要や議会の日程
- 2 議会の生中継やこれまでの質疑の模様
- 3 可決した意見書・決議の内容
- 4 各常任委員会・特別委員会での質疑内容
- 5 会派ごとの議案等に対する賛否状況など

問い合わせ 編集発行／県議会事務局議事調査課電話番号 023-630-2846

詳しくは検索窓に「山形県議会」と入れてクリック。

## <12 から 13 ページ>

タイトル **地域の旬だより** 各地からの情報をお届けします。

### 村山エリア 寒河江スケートパークへGO!

最上川ふるさと総合公園内にある県営の寒河江スケートパークは、スケートボードやBMX（バイシクルモトクロス）などが楽しめる東北最大規模の施設です。オープンから15年以上が経ち、施設の老朽化が進んでいたため、令和3年度から大規模なリニューアル工事を行い、昨年11月に主な工事が完了しました。リニューアルにより、形状の異なるさまざまな階段や手すり、坂道などを配した本格的なストリートコースや、国内最大規模の「クレイドルボウル（ゆりかごの意）」という半球体状の滑走面をパーク内に新たに設けました。初心者エリアも併設されていますので、ストリートスポーツの初心者から上級者までが楽しく利用できます。ぜひお越しください。

写真キャプション 利用料金：1日大人540円、高校生以下270円。初心者エリアは無料で利用できます。

問い合わせ 村山総合支庁西村山道路計画課 電話番号 0237-86-8398

### ハルビンエリア 日本国大使館のイベントで本県を積極的にPR

本県は中国黒龍江省ハルビン市に事務所を設置し、中国との間で、経済・観光面はもちろんのこと、技術・学術・教育など幅広い分野の交流を推進しています。

昨年11月には、在中国日本国大使館（北京）公邸において開催された日中国交正常化50周年祝賀レセプションに参加し、県産酒・県産工芸品や観光資源などについてPRを行いました。当日は、中国の政府関係者、アメリカ・イギリスなど各国の大使館職員、日本に関心のある中国の方々、日本企業関係者430名で会場が埋め尽くされました。山形県ブースは、在中国日本国大使館の垂大使がけん玉を試したり、1900万人近いフォロワーを持ち、SNSで強い影響力がある中国の方が県産酒や県産工芸品をSNSで紹介するなど大盛況でした。

今後とも、中国各地のさまざまなイベントに参加し、本県の魅力発信と知名度向上に取り組んでいきます。

写真キャプション1 本県ブースで垂大使のけん玉に注目が集まる

写真キャプション2 県産工芸品や県産酒、観光資源をPR

問い合わせ 県ハルビン事務所（中国黒龍江省） 電話番号+86-451-5180-3406 県産品流通戦略課 電話番号 023-630-2355

## 県内おススメ文化・スポーツ情報

### やまぎん県民ホールイベント情報

#### 東北芸術工科大学工芸・テキスタイルコース 3年生展

「GROUND WARE 2023」（グラウンドウェア2023）

芸工大生がやまぎん県民ホールからイメージするアートのカタチを展示します。

#### 開催期間

6月21日（水曜日）から7月2日（日曜日）

#### 会場

屋外イベント広場、1階ロビー

#### 料金

無料

### 東北 UNITED（ユナイテッド）

#### 山響×仙台フィル合同演奏会

#### やまぎん県民ホールシリーズ ポリウム2

#### 開催日時

7月23日（日曜日）午後3時

#### 出演

指揮：パスカル・ヴェロ ほか

#### 演目

ドビュッシー：牧神の午後への前奏曲、ラヴェル：ダフニスとクロエ 第2組曲、ラ・ヴァルス  
（管弦楽版）、ボレロ ほか

#### 料金

S席5000円

A席4000円

B席3000円

ほか

### 託児室のご案内

小さなお子さまをお連れの方も安心！施設利用の有無にかかわらず、どなたでも館内の常設託児室をご利用いただけます。

#### 対象年齢

生後6か月から就学前

#### 定員

9名（事前予約制）

#### 料金

1時間500円（お子さま1名あたり）

#### 利用時間

開館日の午前9時から午後5時

（施設利用の方は最大午後10時まで）

詳しくは検索窓に「やまぎん県民ホール」と入れてクリック。

問い合わせ やまぎん県民ホールチケットデスク 電話番号 023-664-2204

(受付時間：水曜日から月曜日の10時から19時)

## 山形交響楽団定期演奏会情報

### 第309回定期演奏会

#### 開演日時

5月13日(土曜日) 午後7時

5月14日(日曜日) 午後3時

#### 出演

指揮：阪 哲朗

フルート：ワルター・アウアー

#### 演目

モーツァルト：アンダンテ ハ長調 K.315

ライネッケ：フルート協奏曲 ニ長調 作品283

ベートーヴェン：交響曲 第3番 変ホ長調「英雄」作品55

#### 会場

山形テルサ(山形市)

#### 前売券

A席4800円 B席4300円 ほか

### 第310回定期演奏会

#### 開演日時

6月17日(土曜日) 午後7時

6月18日(日曜日) 午後3時

#### 出演

指揮&ホルン：ラデク・バボラーク

#### 演目

ベートーヴェン：劇音楽「エグモント」作品84 序曲

ロゼッティ：ホルン協奏曲 変ホ長調 C.49/K.III:36

ベートーヴェン：歌劇「フィデリオ」作品72c 序曲

ドヴォルザーク：スラヴ舞曲集 第1集 作品46

#### 会場

山形テルサ(山形市)

#### 前売券

A席4800円 B席4300円 ほか

詳しくは検索窓に「山響」と入れてクリック。

問い合わせ 文化スポーツ振興課 電話番号 023-630-2903



## プロスポーツゲーム情報

### 「モンテディオ山形」ホームゲーム

#### 開催日時

5月7日（日曜日）午後2時

#### 対戦チーム

藤枝MYFC

#### 開催日時

5月17日（水曜日）午後1時半

#### 対戦チーム

大分トリニータ

#### 開催日時

5月21日（日曜日）午後2時

#### 対戦チーム

ブラウブリッツ秋田

#### 開催日時

6月3日（土曜日）午後2時

#### 対戦チーム

清水エスパルス

#### 開催日時

6月11日（日曜日）午後2時

#### 対戦チーム

いわきFC

#### 開催日時

6月24日（土曜日）午後7時

#### 対戦チーム

東京ヴェルディ

会場 NDソフトスタジアム山形（天童市）

詳しくは検索窓に「モンテディオ山形」と入れてクリック。

## 旬のやまがた美食レシピ

### 甘い香りのかわいらしい春いちご

#### おとめ心（ごころ）

おとめ心は、積雪寒冷地である本県に適した春いちごとして、庄内総合支庁産地研究室で開発された、本県オリジナル品種です。平成4年から14年の歳月をかけて開発され、平成18年に品種

登録されました。酒田市を中心に栽培が始まりましたが、山形市や河北町でも早くからこの品種の栽培に取り組み、それぞれの地域にあわせた、栽培の工夫を積み重ねてきました。

おとめ心は、甘くしっかりした肉質と豊かな芳香をもち、旬は3月下旬から5月下旬ごろです。旬の時期になると、県内のスーパーマーケットや産地に近い直売所に並びます。そのままでも十分おいしいいちごですが、今回は、前菜にピッタリの冷製パスタをご紹介します。いちごの甘酸っぱさにトマトとハーブのさわやかさがマッチした、生産者おすすめのレシピです。

### おとめ心の冷製パスタ

#### 材料（前菜・2人分）

おとめ心 200 グラム

ミニトマト 10 個

にんにく 1 片

ミント適量（バジルでも可）

パスタ（カップリーニまたはサラダ用）80 グラム

A（塩小さじ4分の3、黒こしょう少々、赤ワインビネガー小さじ1、オリーブオイル大さじ2）

#### 作り方

- 1 ボウルにオリーブオイルを少量入れ、にんにくの切り口をこすりつけてのばし、香りづけする。
- 2 いちごとミニトマトはヘタを取り縦に4等分し、細かく刻んだミントとAとともに1のボウルに入れ混ぜ合わせる
- 3 塩（分量外）を入れたたっぷりの湯でパスタを茹でる（表示よりも少し長めの時間で）。
- 4 パスタをザルにあげ、冷水で冷やす。
- 5 パスタの水気を切り、2のソースとよくからませたら完成。

問い合わせ 村山総合支庁農業技術普及課 電話番号 023-621-8276

## <14 から 15 ページ>

### タイトル おいしい山形インフォメーション

山形県の人口と世帯数 令和5年3月1日現在

人口総数 1,035,157 人（前月比マイナス 1,243 人）

世帯数 400,132（前月比マイナス 239 世帯）

#### 【試験】

#### 山形県職員採用試験

今年度の山形県職員採用試験を、以下のとおり実施する予定です。

<試験名> 大学卒業程度

<申込受付期間> 4月28日（金曜日）から5月25日（木曜日）

＜第1次試験日＞6月18日（日曜日）

＜試験名＞短大・高校卒業程度市町村立学校事務職員

＜申込受付期間＞8月4日（金曜日）から9月1日（金曜日）

＜第1次試験日＞9月24日（日曜日）

＜試験名＞警察官A

＜申込受付期間＞4月18日（火曜日）から6月12日（月曜日）

＜第1次試験日＞7月9日（日曜日）

＜試験名＞警察官B

＜申込受付期間＞7月14日（金曜日）から8月28日（月曜日）

＜第1次試験日＞9月17日（日曜日）

◆受験案内配布開始日

大学卒業程度4月28日（金曜日）

短大・高校卒業程度8月4日（金曜日）

市町村立学校事務職員8月4日（金曜日）

警察官A、警察官B4月18日（火曜日）

◆配布場所

県庁（1階受付、15階人事委員会事務局）、各総合支庁総合案内窓口、県外事務所（東京・大阪・名古屋）

（注釈）県ホームページからもダウンロードできます。

問い合わせ 人事委員会事務局 電話番号 023-630-2782

### 山形県公立学校教員選考試験

今年度の山形県公立学校教員選考試験（1次試験）を、以下のとおり実施する予定です。

（注釈）今年度から県の電子申請システムを使用しての出願となります。

◆試験日 7月22日（土曜日）

◆実施要項ホームページ公開日 4月21日（金曜日）

◆出願受付期間 4月24日（月曜日）から5月15日（月曜日）

詳しくはこちら

<https://www.pref.yamagata.jp/700026/bunkyo/kyoiku/kyoin/kyoinsaiyo.html>

問い合わせ 教育局教職員課 電話番号 023-630-3406

### 山形県病院事業局職員選考試験（看護師）

今年度の県立病院の職員選考試験を、以下のとおり実施する予定です。

（注釈）例年より試験日が早まっていますのでご注意ください。

◆申込受付期間 4月28日（金曜日）から5月25日（木曜日）

◆試験日 6月17日（土曜日）、18日（日曜日）

◆受験案内配布開始日 4月28日（金曜日）

◆配布場所 県庁（1階受付、12階県立病院課）、各県立病院、各総合支庁総合案内窓口、県外事務所（東京・大阪・名古屋）

(注釈) 県ホームページからもダウンロードできます。

問い合わせ 県立病院課 電話番号 023-630-2167

### 【募集】

**奨学金の返還を支援します**

**やまがた就職促進奨学金返還支援事業**

**助成候補者募集**

学生やUターンを希望する社会人の方が県内で就業・定住する場合、奨学金の返還を支援します。

<学生の方(大学・短大・専門学校等)>

◆やまがた若者定着枠 定員230名

◆産業人材確保枠 定員50名

◎募集時期：5月26日(金曜日)から6月30日(金曜日)

◎支援額：2万6千円×令和5年4月以降の奨学金貸与月数(例 4年制大学の場合の最大支援額124万8千円)

<社会人の方(県内の高校か大学等を卒業した35歳以下の県外在住者)>

◆Uターン促進枠 定員40名

◎募集時期：7月から8月(予定)

◎支援額：県内居住・就業後3年の間に奨学金を返還した額(上限60万円)

各要件や申込方法などは県ホームページをご覧ください。

<https://www.pref.yamagata.jp/110001/bunkyo/wakamonoseishounen/wakamono/syogakukin/syogakukin/henkansien.html>

問い合わせ 産業創造振興課 電話番号 023-630-2691

### 【お知らせ】

**自動車税種別割の納期限は5月31日(水曜日)です**

自動車税種別割は、お近くの金融機関、郵便局、各総合支庁税務担当課、コンビニエンスストアで納付できます。

また、令和5年4月から、全国的に地方税統一QRコードを活用した納付がはじまりました。自動車税種別割の納税通知書に地方税統一QRコードが印字されていれば、地方税お支払いサイトやスマホ決済アプリを利用した納付ができます。利用可能なスマホ決済アプリなど、詳しくは地方税お支払いサイトおよび県ホームページをご覧ください。

地方税お支払いサイト

<https://www.payment.eltax.lta.go.jp/pbuser>

県ホームページ

<https://www.pref.yamagata.jp/020007/kenzeinoufu/kenzeinoufu.html>

問い合わせ 税政課 電話番号 023-630-3347

## 春の交通安全県民運動

(5月11日から20日)

春は、交通ルールに不慣れな新入学児童や、運転の未熟な新社会人などが新たに道路交通に参加し始めます。

みんなで基本的な交通ルールを確認・遵守し、ドライバーは思いやりのある運転を心がけ、歩行者は積極的に夜光反射材を身に付けて、交通事故を防ぎましょう。

問い合わせ 消費生活・地域安全課 電話番号 023-630-2460

## 5月は自転車月間です

### 自転車は安全・適正に利用しましょう

近年、自転車は健康増進や観光での利用のほか、脱炭素社会への取組みの中でも注目され、利用者のさらなる増加が見込まれています。その一方で、自転車事故による被害や高額賠償事例が社会的な問題となっています。

本県では、「山形県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」により、自転車損害賠償責任保険等への加入が義務となっています。自転車を利用する場合は、必ず保険に加入しましょう。また、自転車に乗る場合は、大人も子どももみんなでヘルメットを着用し、大切な命を守りましょう。

県ホームページでは、自転車の安全利用を分かりやすく、楽しみながら理解できる動画「やまがた愛の自転車利用虎の巻」を公開しています。ぜひご覧ください。

詳しくはこちら

<https://www.pref.yamagata.jp/020070/bosai/kotsuanzen/jitenshajourei.html>

問い合わせ 消費生活・地域安全課 電話番号 023-630-2460

## 5月は消費者月間です

### ◆2023年統一テーマ

デジタルで快適、消費生活術

デジタル社会の進展と消費者の暮らし

社会のデジタル化が進み、インターネットを通じた情報収集や発信、オンライン消費が普及したことで、生活の幅は広がっています。

一方で、デジタル化に伴う新たな消費者トラブルも発生しています。デジタルサービスを上手に活用し、賢い消費者になりましょう。

### ◆消費者ホットライン電話番号「188」

契約に関しておかしいなと思ったり、不安を感じたりしたときは、消費者ホットライン 188 にお電話ください。最寄りの消費生活相談窓口につながります。

最寄りの消費生活相談窓口につながります。

### ◆Web（ウェブフォーム）による相談

消費生活相談は来所、電話のほか、Web（ウェブ）からも受け付けています。

詳しくはこちら

<https://www.pref.yamagata.jp/021006/kurashi/shohi/shouhiseikatsucenter/maillsoudan.html>

◆公式 SNS で最新情報発信中

県内で急増する消費者トラブルや、消費生活に関する情報をタイムリーに発信しています。

Twitter（ツイッター）

[https://twitter.com/yamagata\\_shohi](https://twitter.com/yamagata_shohi)

Facebook（フェイスブック）

<https://m.facebook.com/people/山形県消費生活センターケロちゃん/100080909292410/>

Instagram（インスタグラム）

[https://www.instagram.com/kerochan\\_yamagata/](https://www.instagram.com/kerochan_yamagata/)

LINE（ライン）

<https://line.me/R/ti/p/%40589voosg#~>

写真キャプション 県消費生活センターキャラクターケロちゃん

◆消費生活出前講座【申込受付中】

契約の基礎知識や悪質商法の手口と対処法、エンカル消費などに関する講師派遣を無料で行っています。

講座の申込みはこちら

<https://www.pref.yamagata.jp/021006/kurashi/shohi/demaekouzatop.html>

問い合わせ 消費生活・地域安全課 電話番号 023-630-3237

中山公園野球場の名称が変わりました

ヤマリョースタジアム山形

中山公園野球場の新たな命名権者（ネーミングライツスポンサー）が決定し、令和5年4月1日から新たな名称に変わりました。

◆名称 ヤマリョースタジアム山形

◆略称 ヤマリョースタジアム

◆命名権者 ヤマリョー株式会社

問い合わせ 都市計画課 電話番号 023-630-2523

5月14日から20日は

ギャンブル等依存症問題啓発週間です

「ギャンブル等依存症」とは、ギャンブルなどにのめり込み、やめたくてもやめられない、自分の力だけではコントロールできない状態のことです。ギャンブル等依存症により、健康問題、多重債務などの経済的問題、家庭問題など、日常生活または社会生活に支障が生じることがあります。ギャンブル等依存症は、適切な治療と支援により回復が可能です。

依存症に関する相談窓口などについては、県精神保健福祉センターのホームページをご覧ください。ご家族からの相談も受け付けています。

詳しくはこちら

<https://www.pref.yamagata.jp/091013/kenfuku/shogai/iryo/hokenfukushicenter/kakusyusoudan/izonsyou-taisaku.html>

問い合わせ 障がい福祉課 電話番号 023-630-2240

### 「救急電話相談」

#### 時間拡大のお知らせ

夜間の急病の際に、専門的な知識を有する看護師から、医療機関への受診や家庭での対処方法についてアドバイスを受けられる「救急電話相談」を実施しています。令和5年4月から相談時間を1時間拡大し、午後6時から実施しています。ぜひご利用ください。

#### ◆相談時間

毎日午後6時から翌朝午前8時

#### ◆小児救急電話相談（対象：15歳未満）

<プッシュ回線・携帯電話>#（シャープ）8000

<ダイヤル回線・IP電話>023-633-0299

#### ◆大人の救急電話相談（対象：15歳以上）

<プッシュ回線・携帯電話>#（シャープ）8500

<ダイヤル回線・IP電話>023-633-0799

問い合わせ 医療政策課 電話番号 023-630-3366

### 県立点字図書館利用登録のご案内

県立点字図書館では、視覚障がいのある方はもちろん、発達障がいや読字の困難な方や、寝たきりの方、上肢の障がいやページをめくれない方などに対しても、録音図書などで読書の機会を提供しています。また、視覚障がいのある方には、福祉機器の情報提供や相談対応も行っています。

点字図書館のご利用には利用登録が必要です。電話や郵便ですぐ登録可能ですので、お気軽にお問い合わせください。

#### 【県立点字図書館】

郵便番号 990-0031 山形市十日町一丁目6番6号

電話番号 023-631-5930

ファックス 023-627-1118

◆開館時間 午前9時から午後5時

◆休館日 土曜日・日曜日・祝日・年末・年始

### 山形県公式 Twitter（ツイッター）

@pref\_yamagata

[https://mobile.twitter.com/pref\\_yamagata](https://mobile.twitter.com/pref_yamagata)

## 新型コロナについて

### 新型コロナウイルスが5月8日に5類感染症に移行します

■県では、新型コロナに関する相談やお問い合わせに対応する相談窓口を引き続き設置しています。詳しくは県ホームページをご覧ください。

### 新型コロナの相談窓口

- かかりつけ医がない場合、受診を迷われるとき
- 自宅療養中の体調不安などの健康相談
- コロナ後遺症に関する相談 など

詳しくは検索窓に「山形県 コロナ 相談」と入れてクリック。

県ホームページはこちら

<https://www.pref.yamagata.jp/020072/bosai/kochibou/kikikanri/covid19/coronavirus.html>

### 〇こころの健康に関する相談

県精神保健福祉センター 電話番号 023-631-7060

(平日 午前9時から12時、午後1時から5時)

### 〇聴覚・言語障がいのある方のご相談

コロナ収束総合対策室 ファックス 023-625-4294

(平日 午前8時30分から午後5時15分)

お問い合わせはこちら

コロナ収束総合対策室 電話番号 023-630-2315

## コロナワクチン接種について

コロナワクチンは、令和5年度も自己負担なく接種ができます。

詳しくはお住まいの市町村へお問い合わせください。

<接種時期>令和5年春開始接種

5月8日から8月

<対象>初回接種(1・2回目)を終了した以下の方

高齢者(65歳以上)

基礎疾患を有する方(5歳から64歳)

医療・介護従事者等

<接種時期>令和5年秋開始接種

9月以降

<対象>初回接種(1・2回目)を終了した5歳以上のすべての方

(令和5年春開始接種者を含む。)

(注釈)乳幼児(6カ月から4歳)、小児(5歳から11歳)、12歳以上の初回接種も引き続き実施します。



コロナワクチンによる副反応が心配な場合など、お困りの方は、県ワクチンコールセンターへご相談ください

県ワクチンコールセンター フリーダイヤル 0120-567-690

受付時間 午前8時30分から午後6時 土日祝日含む

厚生労働省では、ワクチンの接種後に生じうる副反応を疑う事例について、医療機関等に報告を求め収集しています。報告がなされた症例については、専門家からの意見を踏まえ、因果関係について評価をしています。

詳しくは、厚生労働省ホームページをご覧ください。

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine\\_hukuhannou-utagai-houkoku.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_hukuhannou-utagai-houkoku.html)

問い合わせ コロナ収束総合対策室 電話番号 023-630-2494

## <16 ページ>

### タイトル 潜入レポート

どうなってるの!?

山形県環境科学研究センター

山形県の空気のきれいさは全国でトップクラス。

どうやって調べているの？

空気のごれを 24 時間 365 日確認！

県内に 11 箇所ある大気測定施設

山形県は、PM<sub>2.5</sub> と呼ばれる空気中の小さなホコリが少ない、全国でも有数の空気のきれいな県です（平成 28 年度から令和元年度は全国第 1 位、令和 2 年度は第 2 位（注釈））。空気がきれい  
と聞くと、呼吸するだけで嬉しくなります。さて、目に見えない「空気のきれいさ」は、どうやって調べているのでしょうか？実は、県内 11 箇所に設置された大気測定施設で、24 時間 365 日、周囲の空気のごれを調べ、その情報を環境科学研究センターが集め監視しているのです。PM<sub>2.5</sub> は、物や燃料を燃やすことで増えるほか、海外から風に乗って運ばれてくるものもあります。それらが少ないことはきれいな状態を表し、空気が澄んでいるという証しなのです。このほか、同センターでは川や工場排水の水質、ダイオキシンなどの有害物質、さらには動物や植物など、さまざまな調査を行い、環境を守るためにちょっとした変化も見逃さないようにしています。

写真キャプション 1 測定施設の中には空気のごれを調べる精密機器が！

写真キャプション 2 アンテナのようなここが空気を取り込む吸気口！

ヒミツポイント

<水や土の安心を守っています！>

空気や川、海、土などにダイオキシンなどの有害物質が含まれていないか、分析装置を使って徹底的に調べます。

<マイクロプラスチックってなあに？>

川や海などに漂う5ミリ以下のプラスチックごみのこと。魚や動物が食べてしまうと消化できなくて死んでしまうことも。センターでは、最上川の調査をしています。

<クマや植物などの調査>

クマの生息数の増減や、クマのえさとなるブナ・ナラなどの実の状況、山岳や周辺の里山地域の動植物や昆虫の調査も行っています。

<科学実験などの体験教室もおまかせ！>

毎年6月に開催される、親子で楽しむ環境科学体験イベントのほか、学校や一般向けの環境学習の受け入れなども行っています。

## 環境科学研究センター

**渡邊 一史（わたなべ かずふみ）主任専門研究員**

食のおいしさで知られる山形県ですが、それらの食べ物は、きれいな水や空気など、豊かな自然に支えられています。皆さんが住む街、近くの山や川はどうでしょうか。これからも皆さんとともに、山形県の環境を守っていきたいです。

## 奥付

山形県広報誌 県民のあゆみ 令和5年5月号 633号

奇数月1日発行 編集発行 山形県広報広聴推進課

郵便番号 990-8570 山形市松波二丁目8番1号 電話番号 023-630-2534

表紙題字 山形県知事 吉村美栄子

県ホームページアドレス <https://www.pref.yamagata.jp/>